

市民助け合いネット

仲間通信

【第27号】

発行

NPO法人
市民助け合いネット
代表 片岡 興一
〒270-0121 流山市西初石4-370-93
Tel・Fax 04-7153-5733

平成25年11月現在の

私たちの仲間
総数 988名
内訳
提供会員 401名
利用会員 587名

「高齢者ふれあいの家・えがお(仮称)」建設に向けて

かねてから当会十周年記念

事業として計画していた念願

の「市民助け合いネット」の

拠点が、来年の四月の完成に

向けて、いよいよ十二月から

建設に入りました。

この建設は、誰もが利用で

きる「多目的広間」に「助け

合い活動の事務所」を併設し

たものです。また、老人福祉

センター機能を有したもので、

特に、これから高齢化が進む

時代に「助け合い」は介護保

険とともに無くてはならない

活動です。その「助け合い」

を柱に、福祉の活動拠点とし

て、高齢者が安心して暮らせ

元気シニアづくりにも寄与す

るものです。さらに流山市が

進めている「高齢者ふれあいの

家」としても当会が運営し

ます。なお、敷地は流山市か

ら有償で借用した約百七十七

坪で、建設面積は約四十四坪

の「豆屋建」となっています。

どのような施設か

一、高齢者がいつでも、気軽

に利用できるコミュニケーション

イーカフェがあります。

●お茶をしながらの気楽

なおしゃべり、趣味の

集い、健康体操、囲碁

・将棋など

●サークルの発表会や

展示コーナー

二、シニア向けの各種の

セミナー勉強会を

開催します。

●就労中の特に、男性

の親の介護ノウハウ、

認知症の方の介護な

どなど

三、いろいろな楽しいイ

ベントを行います。

●利用仲間や助け合い

介護者のバスハイク、

お祭り、映画会や子

どもとの交流など。

四、シニアライフの各種

相談ができます。

●日常生活でのお困り

ごと、認知症の方を

支援する市民後見・

介護保険のご相談な

どなど

五、NPO法人「市民助け合

いネット」事務所があります。

●独居高齢者、高齢家族、障

害者の困ったときの支援の

受付：派遣窓口、「病院など

への送迎」「病院内のサポー

ト」「家事援助」「庭の手入

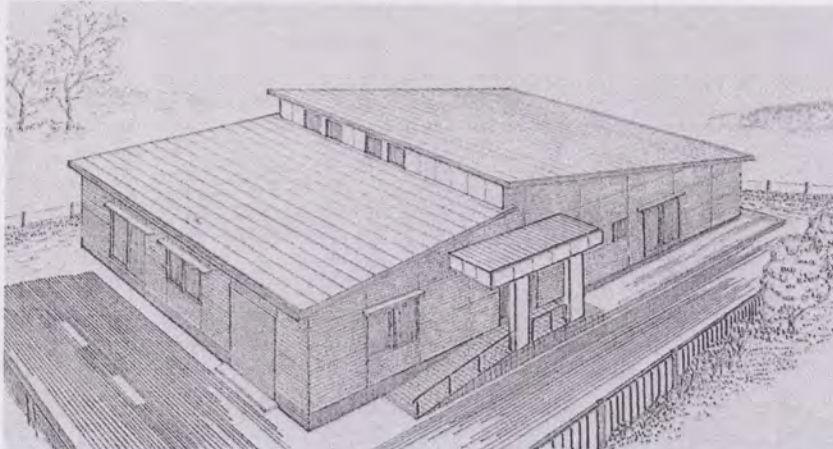
れ」「粗大ゴミの処分」など。

「困った時は、お互い様」

の気持ちで低謝礼で支援し

完成予想図

北東側から見た建家イメージ



なぜ造るのか

この活動は、「介護保険制度が

さらに縮小していく中で、高齢

化が進む地域にとってますます

必要です。

一、シニアが元気で住みよいま

ちづくりの一助とするため

「市民助け合いネット」の活

動を広げる必要があります。

建設資金が不足しています。皆さまのお力添えをお願いします。

●NPOは利益を追求しませんが、「助け合い活動」以外の事業で、結果的に多少の余剰金は生まれます。NPO法人である当会にとって、その余剰金は地域に還元し、地域に役立てることがふさわしいと考えています。それを建設資金の柱として、不足分は流山市のNPO支援融資で借りる予定ですが、それでも少し足りません。

●建設費は約2000万円が見込まれており、400万円ぐらゐが不足します。

●そこで、「みんなで力を合わせて造ろう」の考えのもと、みなさまの温かいお志(ご寄付)をお寄せいただきたく存じます。

みんなで造る「ボクんち」「わたしんち」「みんなんち」

- ご寄付については、1口5,000円です。(出来れば2口以上いただけると嬉しく思います)
- 事務所に来られる方は、ご持参いただければ幸いです。
- 来られない方は、お電話いただければお伺いいたします。
- できれば1月31日までお願いします。
- お問い合わせは事務所7153-5733までお願いします。

●今の事務所では「助け合い」活動の受付とサービ

ス提供だけで前述の他の

高齢者支援ができません

●元気シニアづくりのため

に、前述のような諸活動

(事業)を行える、二十

〜三十人収容の多目的広

間が必要です。

二、現在の事務所では手狭で、

拡大している活動の処理に

支障をきたしています。

★ホームページ、仲間通信などで

建設の進捗状況を逐一お知らせ

します。

「市民助け合いネット」が10周年を迎えます。

2004年(平成16年)3月の設立から来年3月で10周年を迎えますので、次の記念行事を計画しています。

1. 前述の「高齢者ふれあいの家・えがお」の建設
2. 10周年記念誌の発行
3. 10周年記念パーティ

現在、役員を中心にプロジェクトチームを立ち上げて、準備に入っています。

具体的な実施内容が決まり次第、ご案内します。

流山市からの受託事業 「第二十二回流山ロードレース大会」成功裡に終わる



れ、おたかかの森駅南口公園のメイン会場で開会式を行った後、定刻の午前十時につくばTXのガード手前をスタートしました。

一〇kmのコースは中央郵便局、セレモニホール天翔、江戸川台テニスクラブ先を左折し、富士見台団地、ひまわり幼稚園、新川グラウンド、物流センターから、スポーツフィールド、三輪野山住宅地を経て、メイン会場でフィニッシュしました。

また、ファンランは、会場周辺を周回する二kmのコースで行なわれました。

男子の優勝者は大学生で、タイムは三一分七秒で、女性は三六分三秒の大学生でした。

最高齢者は八三歳の市内の男性で、タイムは一時間二〇分一八秒でした。

ファンランは市内の中学生が七分三秒で優勝しました。

この大会は、毎回体育協会参加のスポーツ団体をはじめ、コミュニティスポーツリーダー会、

スポーツ推進協議会、他の市内のスポーツ団体および「市民向け合いネット」(七〇人)などが、半年にわたり準備し、当日は市民ボランティアと市役所の職員が加わり、合計六七〇人余りが運営にあたりました。

また、流山警察署、消防署、水道局、医師会などのご協力を得、コース周辺にお住まいの方や、多くの市民の方に交通規制などでご協力をいただきました。

沿道では市民の方の熱い応援があり、多くの参加者から好評をいただきました。

このように全市的な行事として行われ、流山の素晴らしさを流山市以外からの参加者にPRすることができました。

ご協力をいただいた多くの団体とそのメンバーの皆さま、ありがとうございました。

去る十月十三日(日)「市民向け合いネット」が、流山市から業務受託して総合マネージメントした「第二十二回流山ロードレース大会」が盛大に開催されました。過去最高の四〇九〇人(市外からの参加者七十%)の出走エントリーの内、三五一九人のランナーが秋の爽やかな風を受けて市内を駆け抜け、事故や怪我人も出ず無事に終わりました。当日は、前日までの残暑が嘘のような秋らしい好天に恵ま



家族連れでファンランに参加

認知症支援の「市民後見人」検討・勉強会を開催



高齢者の増加に伴い、認知症の方も増えていきます。「認知症支援」は、国も力をいれており、「成年後見人制度」があります。しかし、この制度は弁護士などが必要が高額になるなど使いが難しいといわれています。

そこで全国各地で、もっと身近な「一般市民」が後見人になり、面倒を見る取り組みが進められています。

今後ますます増えると思われる「認知症」の方のサポートを、当会としてできるものか?どのように関わられるのか?などを検討するため、会員の中から五人の方に講習会を受講していただきました。この講習会を起点に、受講していただいた方々を中心にプロジェクトチームを組み、検討会をスタートさせました。

その第一回目を十一月八日に行い活発な意見交換を行いました。

会員拡大を目指し、「助け合い活動」の説明会を行いました。

サービス依頼が増えつつある中で、提供会員の増加と「助け合い活動」のPRを兼ね、向小金東自治会員を対象に十一月十日(日)自治会館を会場にして説明会を行いました。

当日は、当会と兄弟NPOの「流山高齢者安心ネット」との合同説明会で、当会の「助け合い」と安心ネットの認知症支援の「市民後見」と「安価な葬儀」について説明しました。自治会員約四〇人の参加があり、熱心に聞いていただきました。

当会の「助け合い」活動では、東部地域向小金、松が丘、名都、借前ヶ崎などは、利用者が多い割に提供者が少なく、大変困っています。この説明会を機会に提供者の入会を期待しています。

八木南団地自治会で「助け合い活動」が始まる。

市内南東部富士見橋そばの「八木南団地自治会」(二七三三世帯数・会長・青柳末喜氏)で、当会と同じ「助け合い活動」を行うことになり、アドバイスと協力を要請され、当会の「兄弟団体」として、全面的に協力することにしました。

これは自治会としても高齢化が進み、高齢者対策が重点課題となってきたからです。自治会主体で行うことは市内では初めての事で、近所同士が「困った時はお互い様」の気持ちで助け合うことは、東北大震災でその「絆」の大切さが証明されました。八木南団地自治会の皆さまの取り組みに拍手です。活動は、この春から準備に入ったもので、十二月スタートを目指しています。

事務所からのお願い

1. 年末年始の活動

- ・事務所と活動ともに、12月28日(土)から1月5日(日)はお休みです。
- ・特に、大掃除などの依頼は、12月中旬までにお願ひします。

2. 利用者さんへ

◆数ヶ月先のご利用依頼について

半年も先など、かなり先の利用依頼が時々ありますが、手配ミスが発生しやすくなりますので、今後は最長1ヶ月先までの依頼とします。ご協力お願いします。

3. 雪の日の送迎について

これから雪のシーズンになります。病院などへの送迎の当日、雪が降った場合、当会では送迎が出来なくなることがありますので、そのときは、タクシーなどをご利用いただきますよう、お願いいたします。